



1 明北小4～6年 『明科高校2学年とのクラブ活動交流』 9月2日（火）



バドミントン



ウォーキング



かんだち山

5月に行われた「明科地域園小中高連携推進連絡会」で、明北小と明科高校の職員が、「場所も近いから何か一緒にできるといいね。」と会話を交わした際の願いが実現しました。この日は高2の生徒およそ70名が全員で明北小を訪れました。今回の交流の目的は「明北小のクラブで、小学生・高校生一緒に思う存分楽しむ！」ことです。

高校生は、「バドミントン」「ウォーキング」「かんだち山」「図工」4つのクラブに分かれて参加。バドミントンクラブは練習をしたり試合をしたり、ウォーキングクラブは龍門淵公園まで一緒に歩いて遊具や鬼遊び、かんだち山クラブは山道や広場の整備をしました。



図工



図工クラブは、同日に明北小で行われていた、市教委文化課主催「ART in School」及び「ART in Residence」の企画に合わせ、『藍の絞り染め』を高校生と一緒に楽しみました。

最初、もう一つの『金属加工』を小学生が行っている間に、高校生が講師から藍染めのレクチャーを受けました。交流では、小学生と高校生がペアをつくり、藍染めの工程を進めていきました。高校生は、小学生が困っているときに手を差し伸べ、優しく声をかけてくれます。思い思いに紐で縛って、染め付けた布をほどいて開いたとき、きれいな藍色に染められた、世界に一つだけのトートバックを見て、お互い笑顔で喜び合っていました。

園・小・中だけでなく、今後行われる高校生との交流活動も楽しみです。

<今回のクラブの児童ふり回り> ※活動後の感想、クラブカード、アンケート、日記から

【図エクラブ】

- 藍染めは難しいところもあったけど、楽しくやっている雰囲気伝わってきてよかった。(高校生)
- 一緒に作った作品がみんな個性的で、きれいな藍染めになっていていいと思った。(高校生)
- 高校生になると頭がかたくなってくる。若い子と一緒にだと発想がよく、いいなと思った。(高校生)
- ・なかなかできない体験をさせてもらって楽しかったし、明高の人とも仲よくなれた。
- ・高校生との交流ができてよかった。ふだんなかなかできないことができてよかった。
- ・染め物体験は、みんなちがう形、色、もようなどで、個性が出ていてよかった。明科高校のみんなとは、ペアになった人と話せた。たくさん人がいてもり上がっていた。
- ・高校生ともいっしょにできたし、いろんな人の藍染めを見られて楽しかった。
- ・高校生とお話しながらできて楽しかった。

【バドミントンクラブ】

- ・クラブで高校生がたくさん来て緊張した。高校生とバドミントンをやったら楽しかった。
- ・高校生のお姉さんたちが、やさしく教えてくれてうれしかったです。
- ・分からないところを教えてもらい、「自信がなくてもだいじょうぶ。」と言ってもらえた。
- ・高校生とやって教えてもらったら、うまくできるようになった。
- ・高校生の前でしゃべるのが最初きんちょうした。高校生との打ち合いや試合が楽しかった。またやりたい。

【ウォーキングクラブ】

- ・今日は、りゅうもんぶちに行って、高校生といっしょにしゃべったりできた。
- ・りゅうもんぶちに、明科高校の人たちと歩いて行けて楽しかった。

【かんだち山クラブ】

- ・高校生といっしょにやり、とても強い力だなと思いました。竹を持ってかんだち山に登るのがすごかった。ぼくもそのくらいの力がほしい。
- ・今日は、クラブ活動があった。高校生のみなさんともやれて活動が進んだ気がした。これからは、高校生のみなさんのようにジャンジャン作業を進めたい。
- ・高校生と協力して、効率よく竹をうめられてよかった。
- ・高校生に協力してもらったので、通る道すべての草をかれてうれしいです。

2 明南小 『明南まつり実行委員会』 8月29日(金)



明南小は、11月27日(木)に、『明南まつり』が行われます。本年度は、子ども主体で計画や運営ができるように、児童希望者による実行委員会を組織して進めています。クラブや希望者によるステージ発表、全校でのストリートダンスや楽しい体験など、内容を検討しているところです。委員会で決めたテーマ「地域の方、おうちの方にがんばる姿を見てもらう」「みんなが主役、全校で楽しもう」に向けて、更に思いは膨らみそうです。